

コンクリート構造物における



剥落対策工

ウォータージェットによる
下地処理



処理前



処理後



剥落防止シート



施工後



橋梁高欄部のコンクリートの剥落状況

高齢化したコンクリートの剥落、ひび割れは公共の施設において重大な事故の発生源となります。

特に道路橋は、通行車両による振動や、上部構造物から流れる水の影響を受けやすく、脆弱部が部分的に剥落するリスクが多く、確実な対策を求められる構造物です。



●洗淨・目粗し・清掃を同時進行。強力な接着効果を実現

橋梁やトンネルにおける剥落防止工事は、コンクリート表層に剥落防止シートや剥落防止塗料を施工します。表層にはレイタンスが存在するため、適切な下地処理を行わなければシートや塗料の剥離につながり、剥落防止効果を十分に発揮することが難しくなります。

「Jリムーバー」による表面処理は、表層に微細な凹凸をつけると同時に、コンクリート表層を洗淨し、剥落防止材の付着強度を飛躍的に向上させます。さらに同時吸引効果により、作業水の飛散等、足場直下の歩行者や通行車両に対しても配慮した工法です。

コンクリート構造物における



断面修復工



異物除去



脆弱部除去



●マイクロクラックを与えません

コンクリート構造物は、経年劣化によるコンクリートの剥落やコンクリート打設時のジャンカ、異物混入など様々な要因で部分的に脆弱なスポットが存在する場合があります。

超高压水による断面修復は、脆弱部をピンポイントでは取り取ることが可能です。鉄筋を傷めず、躯体に振動を与えないため、健全な処理面を形成します。

足場内、高所作業車両におけるはつり作業など、適切な養生を施すことで、供用道路に水を垂れ流すことはありません。